

『2023年度 レフェリーの目標と6人制の重点指導項目』

JVA大会運営事業本部 審判規則委員会 指導部

1 目 標

- (1) 競技規則の精神を理解し，論理的・実践的な知識を習得する。
- (2) 正しい判定をするための眼を養い，そのための基本的な動きや位置取りを研究し，審判技術の向上に努める。
- (3) 多くの経験を通して，強いメンタルと人間性の醸成に努め，よりよいゲームマネジメントに繋げる。

2 重点指導項目

【ファーストレフェリー】

- (1) 最終判定について
 - ・自ら判定を行う。ホイッスル後に，副審と必要なラインジャッジを確認し，最終判定を出す。
 - ・責任を持って説明ができるよう，最終判定を行う。
- (2) ハンドリング基準について
 - ・基準および判定の仕方についての確認を行い，すべてのレフェリーが統一できるようにする。
 - ・特に，試合を通しては統一して判定できるよう基準をもつ。
- (3) 不法な行為について
 - ・参加競技者の不法な行為に対しては，毅然とした態度で競技規則を適用する。
 - ・最終判定後，セカンドレフェリーと協働し，コートを確認する。
 - ・軽度な不法行為を繰り返すことがないために，早い段階でステージ1を与える。

【セカンドレフェリー】

- (1) 中断の要求およびベンチコントロールについて
 - ・ワンラリー毎にベンチコントロールを行い，不法な行為や正規の中断の要求の有無を確認し，スムーズなゲーム運営を行う。
 - ・選手交代の手続きを十分理解し，複数の交代，両チーム同時のケースについてスムーズに行えるようにする。
- (2) 不法な行為について
 - ・最終判定後，ファーストレフェリーと協働しコートを確認する。特に，ネット際やベンチ等でファーストレフェリーが気づかない不法な行為があればファーストレフェリーに伝える。
- (3) ネット際の判定について
 - ・選手がネット際でボールをプレーする動作中，ボールを追わずにネット際に目を残し判定をする。
 - ・ペネトレーション等
- (4) スコアシートの最終確認及び試合中のスコアラーのコントロール・不測の事態の際の手順の確認

【スコアラー】

サービス順の確認，得点の確認をしながら，正確に記録をつける。疑わしいときは試合を止め，アシスタントスコアラー等に確認をしてミスのないようにする。

(JVIMSがある場合は，その情報も参考にする)

【アシスタントスコアラー】

- (1) 不法なリベロプレイメントがあれば，サービス許可のホイッスルのあと，ただちにブザーを鳴らす。
- (2) スコアボードの得点が正しいか確認する。